

## 公共交通実証実験（タクシー利用補助）実施計画（案）

## 1 実証実験の目的

- (1) 公共交通空白地域における住民の移動支援と生活の質の向上
- (2) J R五日市線等既存の公共交通の利用促進に向けたフィーダー交通としての有効性を検証
- (3) タクシー利用補助の有効性と課題の検証

## 2 実験内容

- (1) 実施期間（予定）  
令和元年8月1日から令和2年1月31日まで
- (2) 対象者  
あきる野市深沢に住所を有する65歳以上の方  
（基準日：令和元年7月1日）
- (3) 補助内容  
対象者1人につき500円のタクシー利用補助券（以下「補助券」と言う。）24枚
- (4) 利用方法  
乗車時に補助券を提示し、使用できることを確認の上、乗車する。  
料金支払時に補助券を乗務員に渡し、不足分を現金等で支払う。
- (5) 利用条件
  - ア 深沢区域を出発地又は到着地とする利用に限る。
  - イ 使用枚数は1回の乗車につき対象者1人当たり1枚
  - ウ 補助券の利用は対象者本人に限る。
  - エ 補助券に対する釣銭は出さない。
  - オ 実証実験に関するアンケート調査への協力
- (6) 利用できるタクシー会社  
市内各駅に待機場所を有するタクシー事業者を想定
- (7) 調査項目（タクシー事業者による）  
利用年月日、乗車時間、利用料金、出発地、到着地、乗車人数

### 3 実験の周知

市ホームページ、自治会の回覧等で周知を図る。あわせて、説明会を開催し、利用方法の周知、積極的な利用とアンケート調査への協力の呼び掛けを行うとともに、公共交通の利用促進に向けた意識啓発に努める。

### 4 利用実態の把握

#### (1) 利用状況に関する情報の整理

実証実験終了後、回収した補助券を基に利用状況を分析し、補助金額の妥当性、目的地への足として機能しているかなど、タクシー利用補助の有効性と課題を検証する。

#### (2) 利用者の意見聴取

利用者へのアンケート調査により、利用目的、満足度、要望等を把握し、移動支援、公共交通利用促進、生活の質の向上等に係る効果と課題を検証する。